

# ぼうさい みくまじろ



No.15

H29. 2. 13 発行

みくまの支援学校  
育友会 防災研修部

## 第6回 防災研修部会 今年度の成果と課題を検討



2月10日（金）、「第6回防災研修部会」を開催しました。今年度の活動は、これが最終回です。今回は、この一年間の防災研修部の活動のまとめを中心に行いました。今年度の大きな成果として、新宮市で行われた「防災フェア」への参加や「防災講演会」の開催などをおして、学校の様子、子どもたちの実態、本校育友会の取組を知ってもらう機会となったことや少しずつ育友会の防災への取組活動が広がっていることを感じられたことが



防災研修部会の様子

があげられました。次年度は、

近隣の福祉事業所との連携を図っていくことや今年度の取組を無理することなく継続していくこと等、話し合われました。今回、千葉県教委 瀧川指導主事も参加し、貴重な助言をいただきました。



瀧川指導主事から助言

## 防災ライブラリー 新たな資料を整理

先日、本校職員が「震災対策技術展」(横浜市)に参加してきました。たくさんの防災関係の資料を頂きました。防災研修部会のあと、その資料をカテゴリー別に整理をしました。育友会防災ライブラリーは、少しずつ充実してきています。育友会員のみなさん、是非ご活用ください。



整理作業の様子

# 育友会主催防災講演会を開催



1月19日(木)、愛知県立大学 清水宣明教授をお招きして育友会主催の「防災講演会」が行われました。この講演会には、育友会員や教育関係者だけでなく行政・福祉・地域の方々等、約70名の方々が参加してくれました。清水教授は、紀南地域の地形等も紹介しながら、とりわけ災害弱者の避難についてお話してくださいました。閉会后、保護者を交えて昼食会をもちました。その中で、5年前の紀伊半島大水害の



講演する清水教授

のことが話題になりました。保護者の中には、災害に遭われた方もいて、当時の体験を紹介してくれま

した。保護者や教授から、日頃から家庭で取り組むべき災害への対策や備えについて、たくさんのアイデアが出されました。



清水教授・保護者との昼食会の様子

## 防災講演会 資料を配付

保護者の皆様に防災講演会の当日資料を配付します。参加できなかった方も講演内容(スライド)をご覧になっていただき、家庭での防災について考える機会としていただければ幸いです。



## みくまの方丈記 ⑬ ～住みよい町づくり～



榎本校長先生による特別寄稿です。



16年6月、全知P連事務局の方々とは話す機会を得た。福祉避難所設置状況について話が及んだとき「特別支援学校の福祉避難所への指定の推進は、保護者や関係者みんなの願いなんです。」と、熱く語る事務局長の姿が強く印象に残った。又、ある防災講演会に参加したとき「災害時要援護者が住みやすい町は、子どもたちがすくすく育つ町でもある。」とお聴きした。障害のある人が理解され、社会的障壁が無く、ありのままに受け入れられる社会ならばそうだろうな、と納得した。

16年4月から障害者差別解消法が施行され、障害のある人に対する合理的配慮の提供も義務化された。その中には「災害時等の支援体制の整備」と「災害時等への対応に必要な施設・設備の配慮」の2項目がある。福祉避難所設置へ向けての追い風になってくれればありがたい。

本校では、物品の備蓄や施設・設備の配慮はある程度できている。次は、福祉避難所開設時の運用の準備に力を入れたい。まずは、事業所等関係機関との共助のネットワーク作りである。